

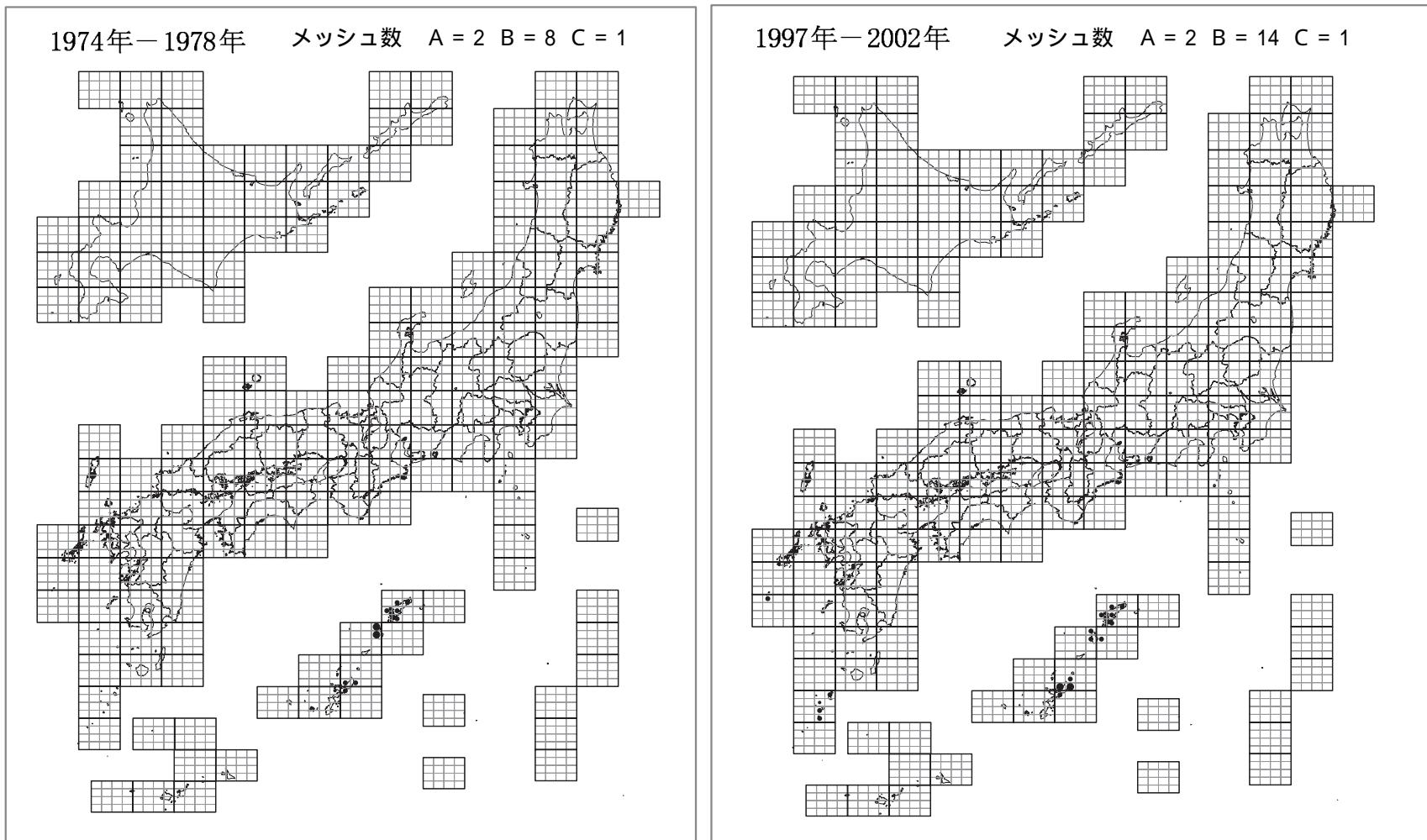
アカヒゲ

(分類) スズメ目ツグミ科 *Eri thacus komadori*

(環境省RDB種) 亜種アカヒゲ(絶滅危惧類) 亜種ホントウアカヒゲ(絶滅危惧類)

(分布) 長崎県男女群島と南西諸島で留鳥。日本固有種。

(生態) 山地の湿った森林内で通年のなわばりを持ち、岩棚や樹洞などで営巣する。沖縄本島では3月頃から3~4卵を雌が13日前後抱卵する。1繁殖期に2~3回繁殖するものもいる。クモや昆虫、ミミズなどを食べる。



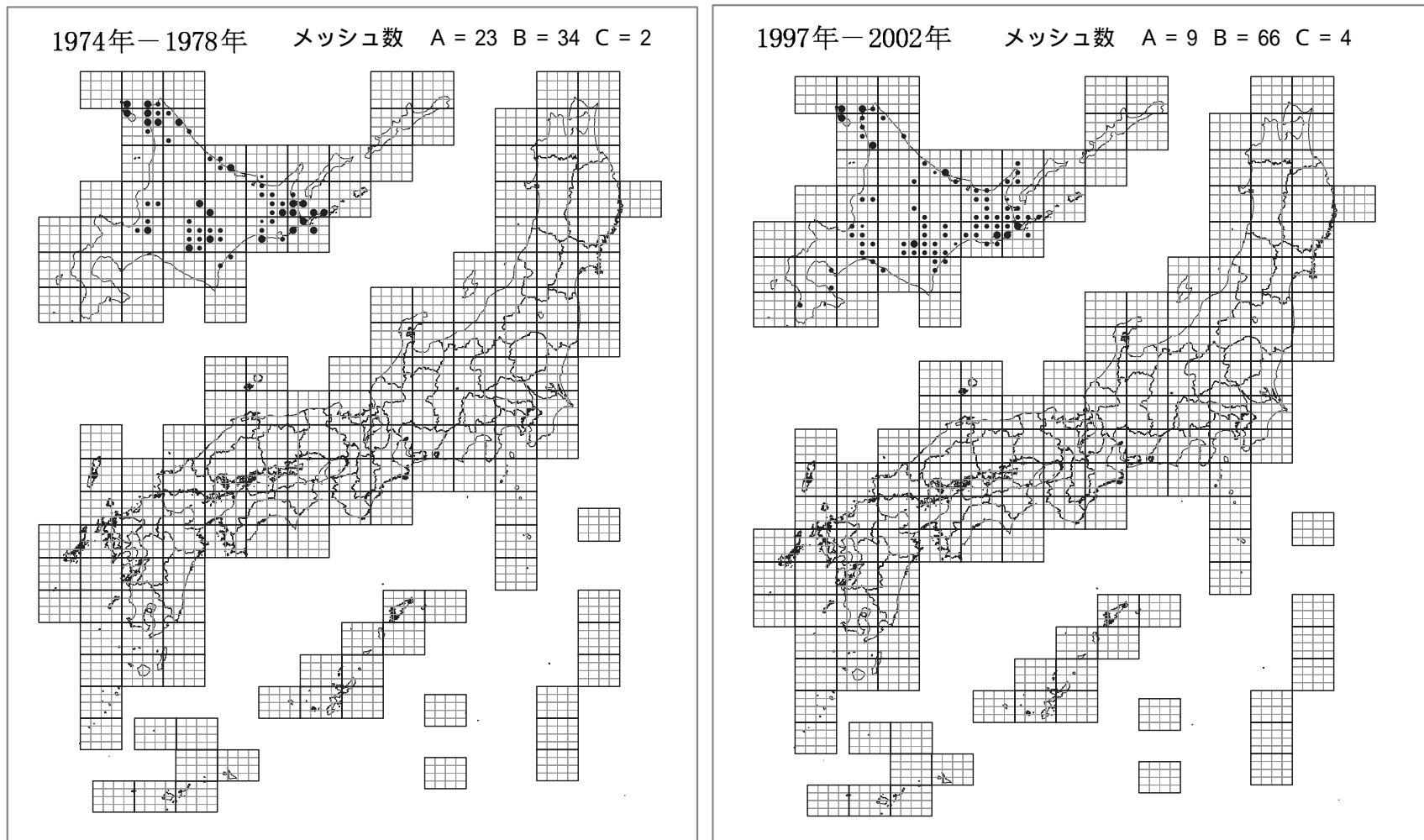
ノゴマ

(分類) スズメ目ツグミ科 *Luscinia calliope*

(環境省RDB種) -

(分布) 北海道で夏鳥。本州北部でも繁殖記録がある。南西諸島で一部冬鳥。ユーラシア中・東部の中緯度地域で繁殖し、アジア南東部で越冬。

(生態) 海岸、河川敷、農耕地など低木が混じる開けた環境から、ハイマツ帯にまで生息。5月中旬に渡来し、6～7月に地上にドーム型の巣をつくる。3～5卵を14日前後抱卵し、12日前後で巣立つ。おもにチョウ目の昆虫をとる。



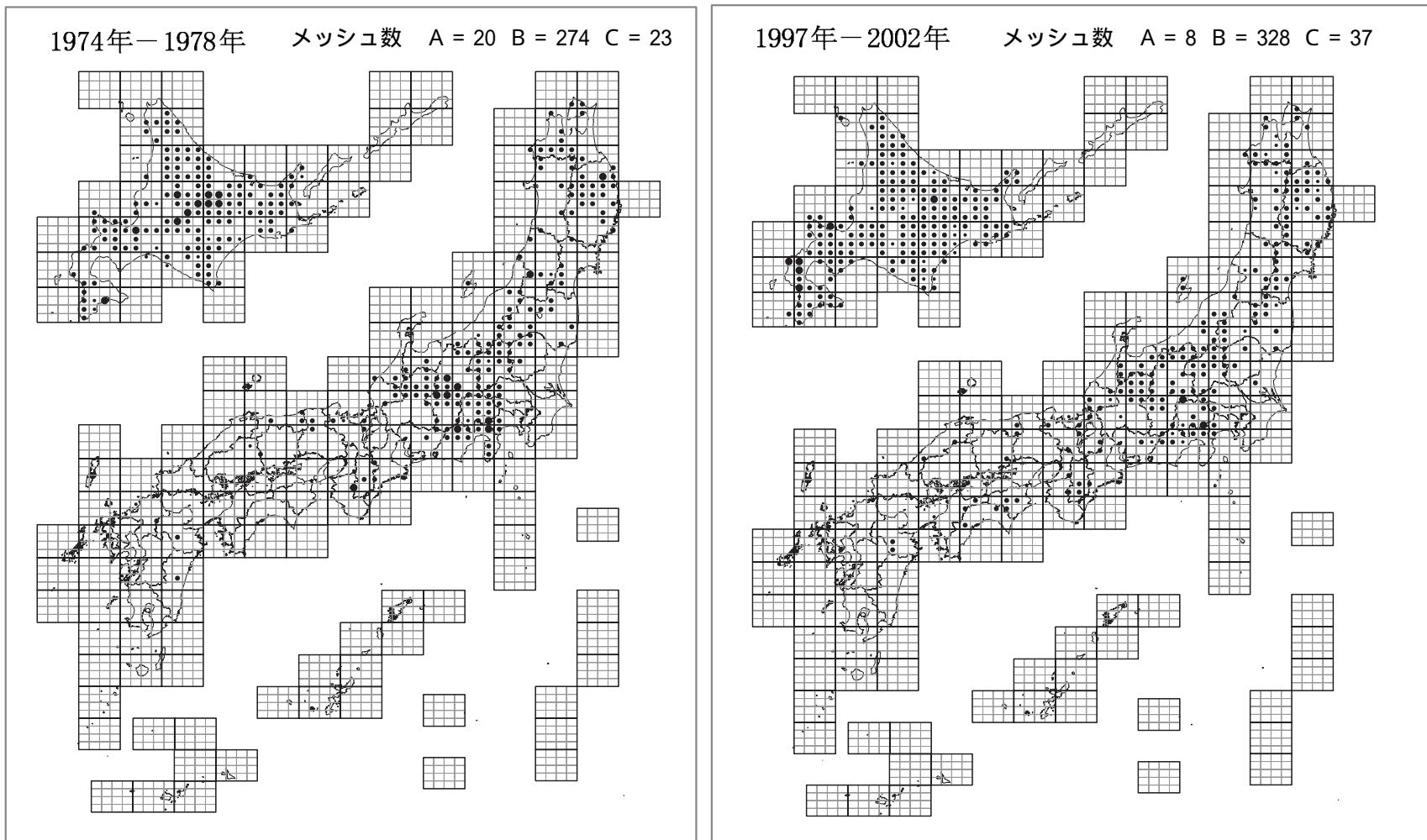
コルリ

(分類) スズメ目ツグミ科 *Luscinia cyane*

(環境省RDB種) -

(分布) おもに本州中部以北で夏鳥。極東地域や朝鮮半島で繁殖し、インドシナやフィリピンなどで越冬。

(生態) 広葉樹林や針広混交林の茂った林床にすみ、地上の窪みなどに営巣する。4~6卵を雌が約2週間抱卵し、14日前後で巣立つ。昆虫やクモなどを捕食する。



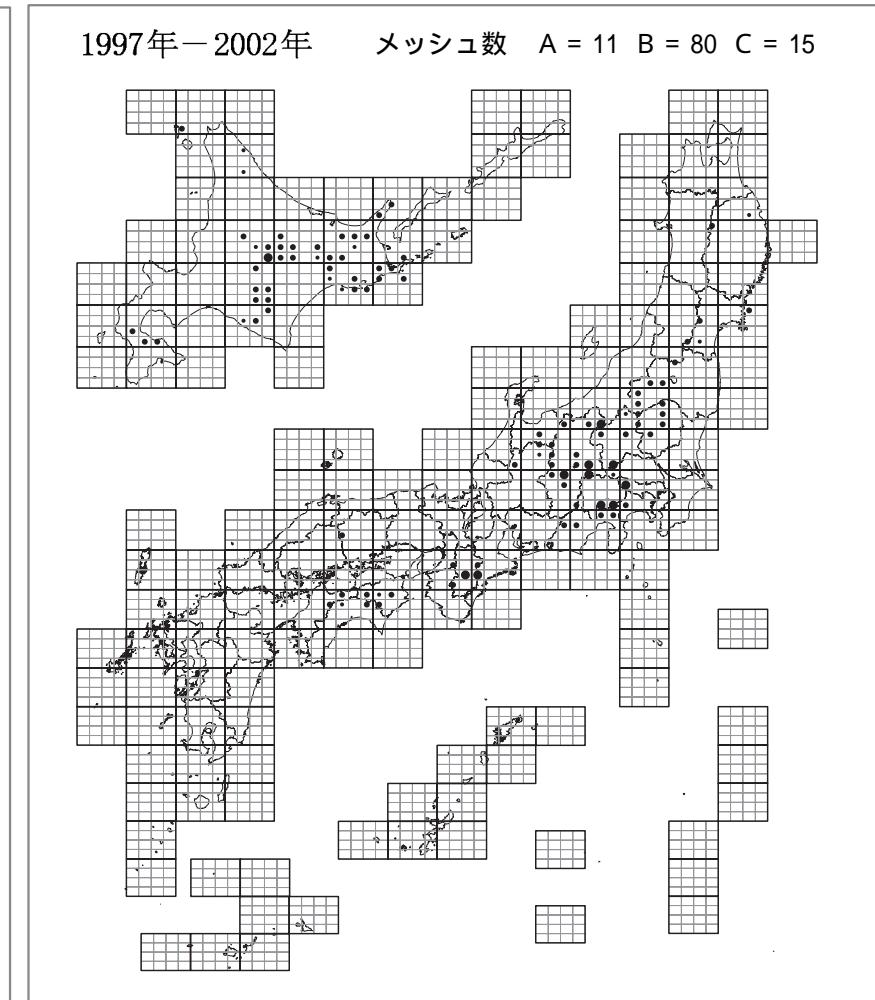
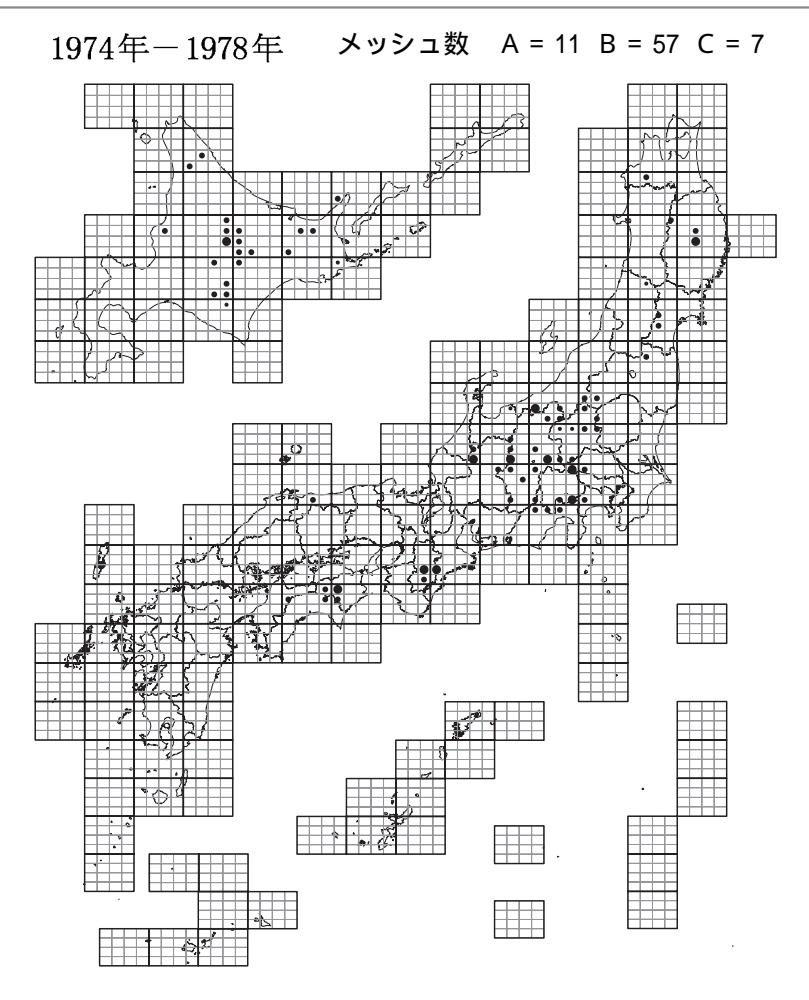
ルリビタキ

(分類) スズメ目ツグミ科 *Tarsiger cyanurus*

(環境省RDB種) -

(分布) 四国以北で繁殖。低地で越冬。ユーラシア中・東部中緯度地域の亜寒帯で繁殖し、東南アジアなどで越冬する。

(生態) 亜高山帯の針葉樹林に4月頃渡来し、5月頃地上の窟みなどに営巣する。4~5卵を雌が14日前後抱卵し約1か月で巣立つ。
おもに昆虫や木の実などを食べる。



ノビタキ

(分類) スズメ目ツグミ科 *Saxicola torquata*

(環境省RDB種) -

(分布) 本州中部以北で夏鳥。ユーラシアで広く繁殖し、アフリカやインド、東南アジアなどで越冬。

(生態) 草原にすみ、4~7月になわばりをつくって地上の窟みなどに営巣する。2~7卵を雌が13日前後抱卵し、14日前後で巣立つ。
枝先の止まり場から飛びついて昆虫などをとる。

